

全組合員の総決起で、「客貨分離」策動 粉碎、申11号要求貫徹を叩いとう

九月四日、電車職場の拠点である幕張、津田沼両支部は、決戦段階に突入した五五・一〇ダイヤ改悪阻止の闘いを勝利的に切り拓くべく職場集会を開催した。
幕張支部職場集会では、当局が五五・一〇の闘いを「客貨分離」策動をもって抑えこまんとする意図を正しくみすえて、横須賀線15両化・スルー運転に伴う事前作業拒否をもって闘うことを確認した。
津田沼支部職場集会は、五五・一〇ダイヤ改悪阻止・乗務員運用合理化阻止闘争の先頭をきつて闘うことを確認しあつた。

幕張支部職場集会

幕張支部職場集会は、本部から布施・高橋両執行委員をむかえて昼休み八〇名の組合員が参加して開催された。

集会は、真藤副支部長の司会で進められた。あいさつに立った白井支部長は、五五・一〇ダイヤ「改」にもなう幕張電車区関連の当局提案内容の説明と、今日までの支部の闘いの取組み経過が詳しく報告された。特に、①今回、当局は台検、交換のあき日を整査して要員の見直しを提案してきたことは従来なかった攻撃である。②しかも当局が、検修の大巾外託を策動している情勢の中で、いまこそ職場からの闘いへの決起がもとめられていることを強く訴え、③最後に五五・一〇ダイヤ改悪阻止、組合要求獲得にむけて、十五両化のための事前作業拒否と、五日局前集会に最大限動員をもって闘う決意が述べられた。

本部を代表してあいさつにたった布施執行委員は、全国情勢の報告と、第九回支部代表者会議で決定された五五・一〇ダイヤ改悪阻止、組織体制強化・拡大、10・21国際反戦闘争を中心とする秋季反戦闘争の方針と具体的戦術を提起した。

参加した組合員は、この方針にもとづいて闘うことを確認しあつた。さらに全職場における闘いを貫徹するために、五日以降全組合員の個別オルグを行うこともあわせて確認した。

津田沼支部職場集会

津田沼支部職場集会は、四日ノ六日までの三日間を設定して行われている。

まず、四日の職場集会には、三〇名の組合員が

参加して十三時から十六時まで熱心な討論が行われた。

あいさつに立った片岡支部長は、一時間三〇分にわたつての、①「本部」派の業務再開なるペテと反動性の暴露、②第三六回動労全国大会で鮮明になった政研・革マルによる組合私物化の実態などがくわしく報告され、さらに五五・一〇をめぐる情勢と五五・一〇ダイヤ改悪阻止、五六・三ジェット燃料輸送期限延長阻止へむけた秋季闘争の重要性が訴えられた。

その後、本部から参加した吉岡執行委員をふくめて全員での熱心な討論が続けられ、秋季闘争に津田沼支部が闘いの先陣を切ることを全体で確認し、集会は成功裡のうちに終了した。

全組合員のみなさん!

いまわれわれに問われていることは、全支部・全職場から闘いに決起し、国鉄当局の「客貨分離」策動を粉碎し、三五万人体制合理化阻止・五六・三ジェット燃料貨車輸送期限延長阻止と固く結合し、申十一号要求獲得にむけて闘うことである。すでに幕張・津田沼両支部は闘争体制を確立した。この両支部にひきつづいて全支部はより強固な闘争体制をうちかためよう。

全支部で、職場集会、現場長交渉、ピラはり闘争など創意ある闘いを展開しよう。

再建合理化の尖兵「本部」反動分子の敵対を粉碎し、五五・一〇ダイヤ改悪阻止闘争の大衆的高揚をかちとろう。

9.15

三里塚現地集会
午後一時
岩小學校跡地

三里塚・ジェット闘争貫徹ノ「国鉄35万人体制」粉碎ノ

55.10ダイヤ改悪阻止! 幕張、津田沼で職場集会